

# 市郡地区医師会 救急・災害医療担当理事連絡協議会

## 災害に備えた各種資機材の保有状況など情報共有



と き 平成26年5月1日(木) 午後7時30分

と ころ 広島医師会館 6階 第1会議室

広島県医師会常任理事 山田 博康  
野間 純

本連絡協議会は、市郡地区医師会の救急・災害医療担当理事にご出席をいただき、顔の見える関係づくりを目指して情報の共有や提供、各種検討を行っている。今回は平成25年度広島県地域医療再生計画に基づき各地区医師会で購入した資機材について、情報共有を行うと共に災害時の有機的な活用方法について協議した他、現在検討を進めている地域ブロック体制や広島県救急医療情報ネットワークのシステム更新について報告・説明を行った。

### 各地区医師会 災害に備えた各種資機材の保有状況について

平成25年度広島県地域医療再生計画の補助に基づき、県内各医師会では救急医療資機材を購入している。各医師会が購入した資機材について、購入に至った背景や内容、保管場所、活用方針などを共有し、資機材を踏まえた支援や貸与の要請といった有機的な連携を目指し、発表・意見交換を行った。

資機材の内訳は、衛星携帯電話や発電機、投光機、救急医療・感染症防護セットなど、地域ごとに多岐にわたり、会員や基幹病院、連携する消防などの意見を踏まえて、各地域に必要な要素を補完する形で配備されていた。保管場所は医師会館や基幹病院が多かったが、会内各医療機関に配備するケースも見られた。なお、本会では主に災害対策本部の機能強化やJMAT等医療救護班派遣の際に貸与できる物品を中心に購入しており、要請に応じて各医師会・救護班への貸与を予定している。

質疑応答では、今回購入の資機材について、訓練等で使い切ってしまった場合や年数が経過して古くなった場合の補充、代替購入はどうかといった質問があったが、今回の補助の性質上、原則として補充や代替購入は各地区医師会や保管する医療機関で行っていただく必要がある方針を示した。補助の希望が多い場合には本会で意見をとりまとめ、広島県に再度の補

助を要望していきたい。

### 災害時における地域ブロックの構築について

災害時における地域ブロックの構築については、県や県地対協での検討、広島県から県内各圏域の市町および保健所への説明と協力要請が行われているほか、3月28日開催の県医師会救急・災害関係合同委員会にて現状報告や検討の進捗状況、今後の方針について報告・説明を行っており、本連絡協議会でも報告・説明を行った。地域ブロックについては、平成25年度圏域地対協研修会基調講演(広島大学救急医学谷川攻一教授)で概要を分かりやすくお話しいただいており、広島県医師会速報第2226号付録の研修会報告書に掲載させていただいた(県地対協HP：<http://citaikyo.jp/data/index.html>でも公開中)ので、ぜひご参照いただきたい。

地域ブロックの構築に向けては、各地区医師会からもご意見をいただき、広島県および地域ブロック提唱者である谷川教授にお伝えしているところではあるが、ブロックの区分けや拠点施設をどこに設定するかといった個別具体的な部分については3月28日会議での検討ができなかったため、継続検討予定である。

今後、概念的な部分のみではあるが、地域ブロックの考え方について広島県災害時医療救護活動マニュアルへの盛り込みを行う事となっているが、改正は新たに印刷する形ではなく、県

HPで公開されているマニュアルデータの差し替えのみを行う予定である。

## 広島県救急医療情報ネットワークシステムの更新について

広島県医療政策課より、広島県救急医療情報ネットワークのシステム更新について経緯や概要の説明があった。

広島県救急医療情報ネットワークシステムは、現行システムに移行して8年目を迎え、機器の耐用年数を超過していることから、機器の更新を行うとともに円滑な救急搬送のため、現行システムの特徴を踏まえて、より使いやすいシステムに再構築することとしている。

各地区医師会に大きく関係する部分として、広島県が救急ネット運用のために地区医師会に配備していた専用のPCと回線について、システム更新に伴って撤去する予定である旨説明された。これは平成18年当時、PCやインターネット回線の普及が十分に進んでいなかったが、PCや回線の普及が進んだ現在ではIDとパスがあればシステムへの入力が可能であり、専用のPC・回線は不要であると判断されたためである。

新システムは、平成26年10月1日からの運用開始を予定しており、救急応需の他、EMIS（広域災害救急医療情報システム）との接続、小児救急医療電話相談事業（#8000）との連携、医療機能情報システムとのデータ統合、NHKデー

タ放送を活用しての当番医情報のテレビ閲覧可能化等を目指している。また、県内の全救急車にはタブレット端末を配備し、傷病者の数、事故種別や重症度、緊急性、観察項目をワンタッチで入力できるようにする他、救急車の位置情報確認、現場の写真や手書きの文字を救急隊・病院間で共有できるシステムを検討中である。

なお、新システム運用開始に先立って、操作説明会を各圏域で実施予定である。

## 担当理事コメント

今回の災害医療資機材購入に伴う補助を行うという取り組みは、県内各地の災害対応体制の向上に大いに繋がったと感じる。広島県から貴重な機会をいただけたことに感謝すると同時に、各地区で配備いただいた資機材については地区相互の貸与や支援など、有機的かつ有効な活用を目指したい。

地域ブロックの構築に向けては今後も継続した検討が必要である。地域の医療・行政のマンパワーをはじめとしたリソースや圏域と市町それぞれの区分けなどを踏まえた地域ごとの検討も必要と考えられるが、お気づきやご意見、お困りの点などあれば、本会までお寄せいただければと思う。

引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 税務相談室・融資相談室のご案内

本会の福祉活動の一環として、「税務相談室」および、「融資相談室」を開設しております。無料ですのでご遠慮なくご利用ください。

記

### 『税務相談室』

※医業税務、一人医療法人などについて  
と き 平成26年6月19日(木)、7月3日(木)  
午後2時～午後5時 (1人1時間程度)  
ところ 広島医師会館内 5階会議室  
担当者 中国税理士会 広島県支部派遣税理士  
米今 喜作 大谷 博昭

### 『融資相談室』

※新規開業、事業拡張、事業承継などについて  
と き 平成26年6月19日(木)、7月17日(木)  
午後2時～午後5時 (1人1時間程度)  
ところ 広島医師会館内 5階会議室  
担当者 金融機関 金融サービス (医療専門  
チーム) 担当者

予約申込先

〒733-8540 広島市西区観音本町1-1-1  
広島県医師会経理課 TEL: 082-232-7211